



H17年度に校庭を芝生化した 学校におけるヒアリング調査

21世紀校庭緑化研究会
技術委員 屋祢下

調査概要

- 目的 校庭芝生化を推進するために、実際に芝生化した学校にてヒアリング調査を行う。
- 調査項目 H17年度に芝生化された都内27校のうち、許可が得られた7校にて以下の項目を調査

1. 芝生化した校庭の概要	3. 管理状況
・芝生化した面積	・芝管理機械の有無
・生徒一人あたりの芝生面積	・管理体制の有無
・芝種	・管理作業の外注の有無
・芝生化した理由	・追い撒きの有無
・植栽基盤の構造	4. 芝生化に対するコメント
・排水方式	・先生が感じるメリット
・給水方式	・先生が感じるデメリット
2. 使用状況	
・授業での使用	
・使用制限の有無	
・放課後、休日の開放	



調査結果1－芝生化した校庭の概要

芝生化した面積

- ・1400m² / 校 (27校平均)

生徒一人あたりの芝生面積

- ・4.3m² / 人 (調査を行った7校の平均)

芝種

- ・日本芝、ティフトンなど暖地型主体 : 6校
- ・寒地型主体 : 1校

芝生化した理由

- ・砂じん防止対策、熱中症対策、イメージアップ



調査結果2 - 芝生化した校庭の構造

基盤構造

- ・ダスト舗装を撤去したのち改良砂を客土 : 6校
- ・撤去したのち現地土に改良材を混合 : 1校

排水方式

- ・暗きょ管を埋設 : 7校

給水方式

- ・既存のレインガン式スプリンクラーを利用 : 7校



調査結果3 - 使用状況

使用制限の有無

- ・芝の養生期間以外、使用制限なし : 5校
- ・夏芝の萌芽期(3月～5月)は使用禁止 : 1校
- ・芝生の上での球技は禁止 : 1校

授業での活用状況

- ・今のところ、体育のみ
(今後、芝生を活かした授業を行いたい) : 4校
- ・芝生の生物調査や熱測定を行っている : 3校

放課後、休日の開放

- ・地域のサッカー、野球に開放している : 4校
- ・スポーツ少年団は使用しない : 3校



調査結果4 - 管理状況

芝管理機械の有無

- ・専用の芝管理機械がある:7校

管理体制

- ・地域ボランティアの協力を得ている:5校
- ・協力を得たいが、実質、学校のみで管理:2校
(管理作業の一部を外注している:6校)

追い播きの有無

- ・暖地型、寒地型のいずれかを播種:5校
- ・播種していない:2校

芝生の上でのボール遊びは禁止



夏芝が萌芽する3月から5月は使用禁止



6月にバミューダグラスを播種することによって芝が回復



7月に体調不良を訴える子供が少なくなった

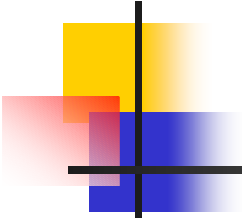


当初、芝生には悪いイメージしかなかったが



オーバーシード後、養生期間を設けずに使用





06.04.26



06.07.03



06.10.08



06.11.10



先生が感じる芝生のメリット

- ・外に出る子供が増えた。芝生に寝転んだり、座って話したりする低学年の子供が目立つ。
- ・ケガをする子供たちが少なくなった気がする。
- ・涼しくなった。
- ・砂じんの飛散がなくなった。
- ・トンボや鳥類など生き物が増えた。



先生が感じる芝生のデメリット

- ・芝生が枯れてしまうのでは、と心配。
- ・工事期間中や補修作業後の養生期間中に、子供たちを遊ばせる場所がない。
- ・芝生を維持するために校庭は開放したくないが、地域との関係が無視できない。
- ・芝生を維持管理するノウハウを継承できるか心配
- ・芝生化によってできなくなってしまった遊びがある。



今後の課題

校庭の使用状況に合わせた芝品種や基盤
構造の設計

芝を優先した管理工程の設定

地域の公共グラウンドとの連携

芝生管理に関するサポートセンターの設置